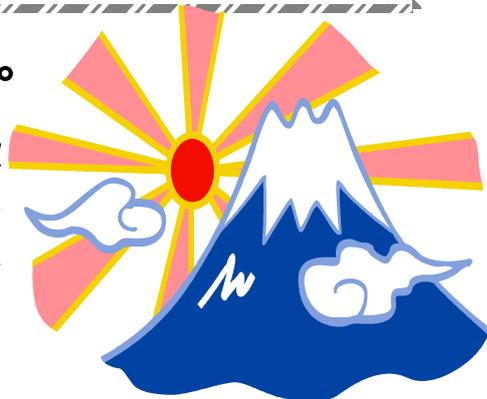




新しい年の光が差し込んできました。 本年もよろしくお願ひいたします。

子供たちが元気に登校してきました。子供たちの笑顔と歓声は、どうしてこんなにもエネルギーを感じさせるのでしょうか。登校時には、新年のあいさつをしてくれた子どもたくさんいました。わずかの間に、子供たちが一回り大きくなったような気がします。

冬休みの間に大きな事件・事故がなく過ごせたことは、ご家庭のおかげです。ありがとうございました。



穏やかな新年となりましたが、日本各地から大雪のニュースも届きます。「雪は豊年の瑞（ゆきはほうねんのしるし）」とされ、雪がたくさん降ることは、その年が豊作になる前兆だと言われるようです。生活に支障が出るほどでは困りますが…。子供たちにとっても実り多い年になることを願っています。

成人の日に ～今年も13日（月）

毎年、成人の日の新聞に酒造メーカーの広告が載ります。以前は作家の山口瞳氏が、昨年末までは伊集院静氏が新成人に向けてメッセージを寄せていました。

もうだいぶ前の話ですが、私の成人の日には、山口瞳氏がこんな歌を紹介していました。「屑煙草（くずたばこ）集め喫（す）へれと志す高き彼物（かのも）忘らふべしや」吉野秀雄。～どんな失意の時にも志を高く持ちたい～というような内容だったと覚えています。二十歳（はたち）の自分は「自分にとっての『高き彼物』とはなんだろう。」と悩んで？いました。

一昨年、伊集院氏が亡くなったので、今年は誰が、どんなメッセージを寄せるのだろうかかと気になっています。

2022年4月1日から、成年年齢を18歳に引き下げることを内容とする「民法の一部を改正する法律」が施行されました。世界的には成年年齢を18歳とするのが主流となっているようです。また、女性が結婚できる最低年齢は16歳から18歳に引き上げられ、結婚できるのは男女ともに18歳以上となりました。

今年も改正後、3度目の成人式となります。時期や在り方に関しては、法律による決まりはなく、各自治体の判断で実施されています。阿見町では12日（日）に20歳を迎える年齢で実施します。

さて、この法律により、6年生が成人を迎えるのは、2030年度になります。（6年後に大人！ 20歳でも悩んだのに18歳で大人になる！？）

人生100年といわれるこの時代、この子供たちが大人になったとき、社会に出たとき、どんな力を身に付けているべきかを考えることが必要とされています。「10年後はどんな世の中になっているのか予測できない。が、予測できない社会になっていることだけは予測できる。」という笑い話があるほどです。



本郷小の子たちが小学校を卒業するとき、義務教育である中学校を卒業する時、どんな姿で、どんなことができるようになっていくのか、学校では10年後・20年後の社会を考えながら指導していくことが大切です。そのために、子供自身が、問いを持ち、目標を持ち、自分で考え、判断し、実行する。また、人と関わりながら、折り合いを付け、問題を解決し、やり遂げられる喜びを感じられる。こんな学校生活、授業を進めていきたいと考えています。

今年、お子様が成人式をお迎えになるご家庭もおありでしょう。
「お子様のご成人、まことにめでたうございます。」